## 第14号

Ħ 次

巻頭言	
EditorialElderly of the Tibetan Highlands and Impaired Glucose ToleranceKozo Matsubayashi et al.低酸素適応遺伝子と糖尿病アクセル仮説奥宮清人ほか	3 9
特別寄稿(雲南懇話会) 「ヒマラヤの上昇と人類の進化」再考 一第三紀末から第四紀におけるテクトニクス・気候生態系・人類進化をめぐって― 安成哲三	19
特集 1:総合地球環境学研究所「高所プロジェクト」特集 ラダークにおける住民の栄養摂取量と糖尿病との関連 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39
インド・ラダーク高所住民の GDS-15、老研式活動能力指標に対する回答の実態	46
地域に関連した Primary Health Questionaire-9 症状陽性率の検討 —玉樹(中国)、土佐町(日本)の比較— ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	52
in Cotahuasi and Puyca Located in La Union Province, Arequipa, Peru Wenling Chen et al. Chronoastrobiology の視点から見た高所住民の健康:	59
CME (coronal mass ejection) とラダークの洪水         中間隆志ほか           東部ヒマラヤにおける土地開発史         宮本真二ほか           インドの地域開発策に果たすパンチャーヤトと NGO の役割―村落レベルの運用事例―         野瀬光弘           ラダーク山地社会における農林牧複合の農業形態と土地利用の変容         山口哲由ほか           インド・ラダーク地方南東部チャンタン高原における遊牧と交易         稲村哲也           フィールド科学をかんがえる―西北研究所を原点にして―         斎藤清明           「森のチベット」アルナーチャル・プラデーシュ州西部における自然信仰の聖地の今とその特色         小林尚礼	65 82 91 102 114 130 140
特集 2: 京都大学ブータン友好プログラム特集       松沢哲郎プータン友好プログラム:第 10 次までの訪問団派遣       松沢哲郎プータン王国の新生児集中治療室における院内感染対策の経験       西澤和子ほかプータンの市民社会組織―2 つの事例に即して―       河合明宣プータン王立大学御一行の京都大学訪問に寄せて       坂本龍太ブータンを訪れて―ブータンの幸福を支える背景―	156 168 180 195 207
特集3:ニューギニア特集 開発途上地域における糖尿病にみる健康教育の重要性―インドネシア・パプア州の症例より― 木村友美ほか 西ニューギニアの神経難病多発地域を歩く―第2報―辺境のジャングル・共同体・現代医学― 平田 温ほか インドネシア・パプア州低地バデにおける暮らしと文化 ―文化人類学と医療調査の連携を探る予備的研究― 稲村哲也ほか	211 217 228
<b>特集 4:雲南懇話会からの寄稿</b> 生業としての伝統的焼畑の価値―ラオス北部山地における空間利用の連続性― 横山 智旅行者と研究者とのはざまで―雲南懇話会中国法制研究会の活動報告― 岡 邦俊茶文化交流の向こうにあるもの	242 255 264

2013 京都大学ヒマラヤ研究会 京都大学ブータン友好プログラム 人間文化研究機構·総合地球環境学研究所 「高所プロジェクト」

### 投稿 規定

- 1. 本誌への投稿は、京都大学ヒマラヤ研究会会員とともに、非会員からも受け入れる。掲載論文は他誌に未発表のものとする。
- 2. 本誌には次のものを掲載する。
  - 1) 原著、2) 総説、レビュー、3) エッセー など
- 3. 原稿は別に定める様式に従って、可能な限り、電子ファイルで作成する。
- 4. 論文の長さは、原則として、図表を含めて原稿枚数、24 枚(400 字 / 枚)以内とする。また、カラー 印刷希望の場合など、図表、写真などで製版、印刷に特別の費用を要するとき、実費を投稿者の負担とする。なお、図表は1頁でおさまるものとする。
- 5. 論文には、研究の目的、方法および結果を理解できるような300語以内の英文抄録をつけて提出する。 また表題、氏名および所属名の英文も併記する。
- 6. 原稿は、発行者編集係宛へ提出する。
- 7. 投稿原稿の採否は編集委員会で行い、杳読結果により修正を求めることがある。
- 8. 原稿は原則として返却しない。原図・写真等の返却を希望する場合は、その旨明記すること。
- 9. 論文の別冊は印刷に要する実費の全額を著者が負担する。
- 10. 採択された論文等の著作権(著作権法 27 条 翻訳権、翻訳権法 28 条 二次的著作物の利用に関する原著作者の権利)は、発行者(京都大学ヒマラヤ研究会および、人間文化研究機構・総合地球環境学研究所「高所プロジェクト」)に帰属する。
- 11. 発行者は、当該論文等の全部または一部を、発行者ホームページ、発行者が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版(電子出版を含む)出来るものとする。この場合、必要により当該論文の抄録等を作成して付すことがある。

#### 原稿の様式

- 1. 原稿は新かなづかい、口語体、平がなの横書きとする。漢字は原則として常用漢字とする。
- 2. 外国の人名、地名、物件名などは原語を用いる。 ただし、人名、固有名詞およびドイツ語の名 詞は最初の1字を大文字、他は小文字で書く。
- 3. 動物のラテン語学名はイタリック、日本語名はカタカナで書く。
- 4. 数量の記号は、C.G.S. 単位により欧文で表す こと。
- 5. 図表は鮮明で印刷しやすい形にして、説明文 をつけ、おおよその挿入個所を本文左余白に 指示する。
- 6. 章、節、項などをあらわす符号として、次の ようなものを用いる。

(a)

(b)

- 7. 引用文献の記載は次の様式にする。
- 1) 雑誌の場合は、著者名(3名以上の場合は「ほか」または「et al」とする)、表題名、雑誌名、巻:掲載ページ、発行年の順とする。ただし、雑誌名は決められた略称を用いる。
- 2) 単行本の場合は、著者名(監修または編集者 名):項目名(書名).発行所,所在地,発行 年:引用頁.の順に記す。

#### <引用文献記載例>

#### 雑誌

- 1) 堀了平: ブータンの生薬資源. ヒマラヤ学誌 3: 113-122, 1992.
- 2) Rowe JW. Kahn RL. Human aging: Usual and Successful. Science 237:143-149, 1987.

#### 単行本

- 川喜田二郎(今西錦司編):農業北限線の問題(大興安嶺探検). 講談社, 東京, 1975:514-534.
- West JB: High life. A history of high-altitude physiology and medicine. Oxford University Press, New York, USA, 1998: 132-163.

#### 編集委員

稲村哲也(愛知県立大学) 河合明宣(放送大学群馬学習センター) 辻本雅史(京都大学教育学研究科) 古川 彰(関西学院大学社会学部) 松林公蔵(京都大学東南アジア研究所)\*

奧宮清人 (総合地球環境学研究所) \* 竹田晋也 (京都大学 A·A 地域研究研究科) 月原敏博 (福井大学教育地域学部) 松沢哲郎 (京都大学霊長類研究所) \*:編集責任者

2013年3月29日発行

#### ヒマラヤ学誌 第14号

発行者 京都大学ヒマラヤ研究会

京都大学ブータン友好プログラム

人間文化研究機構・総合地球環境学研究所

「高所プロジェクト」

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457 番地 4

奥宮清人気付け

Tel. 075-707-2100(代表),Fax. 075-707-2106(代表)

e-mail: okumiyak@chikyu.ac.jp

編集委員会 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46

京都大学東南アジア研究所、松林公蔵気付け

Tel. 075-753-7368, Fax. 075-753-7168 e-mail: kmatsu@cseas.kyoto-u.ac.jp

印刷所 株式会社 土 倉 事 務 所

〒603-8148 京都市北区小山西花池町 1-8 Tel. 075-451-4844,Fax. 075-441-0436

e-mail: jde07711@nifty.com

# **Himalayan Study Monographs**

### No.14 2013

Preface Editors	
EditorialElderly of the Tibetan Highlands and Impaired Glucose ToleranceKozo Matsubayashi et al.Hypoxia-Adaptive Gene and Diabetes Acceleration HypothesisKiyohito Okumiya et al.	3
Special Review (from Yunnan Forum)	
Revisit to the Issue of "the Himalayan Uplift and the Human Evolution"	
— On the Connection among the Tectonics, Eco-climate System and Human Evolution	10
during the Late Tertiary through the Quaternary Era — Tetsuzo Yasunari	19
Special Issue 1: The High Altitude Project in Research Institute for Humanity and Nature	
Association between Total Energy Intake and Diabetes in Ladakh Yumi Kimura et al.	39
The Trend of GDS-15 and TMIG-IC in High-Lander Elderly People:	
Comparison of Japanese Rural Area Eriko Fukutomi et al.	46
Positive Symptoms in Primary Health Questonnaire-9 According to the Regions	
— Comparison between Yushu (China) and Tosa Town (Japan)	52
The Comparison of Comprehensive Geriatric Functions of Community-Dwelling Elderly People Living	=0
in Cotahuasi and Puyca Located in La Union Province, Arequipa, Peru	59
Glocally Comprehensive Health Watch at High Altitude Takashi Nakaoka et al. Historical Land Development in Eastern Himalaya Shinji Miyamoto et al.	65 82
The Fundamental Role of Panchayat Raj and NGOs in Terms of Rural Development in India	02
— Operational Case of Villages — Mitsuhiro Nose	91
Land Use and its Transition in an Agro-Silvo-Pastoral System of a Ladkhi Village,	01
Jammu & Kashmir, India	102
Nomadic Pastoralism and Trade on Changtang Plateau in the Southeast Ladakh, India	114
About Field Science — Make the Northwest Research Institute the Origin — Kiyoaki Saito	130
The Present Circumstances and the Features of Sacred Places for Nature Worship	
in the Western Part of Arunachal Pradesh in India, "Forest in Tibet"	140
Special Issue 2: Contribution from the Kyoto Bhutan Friendship Program	
Kyoto University Bhutan Friendship Program: The Summary of the First 10 Missions to Bhutan Tetsuro Matsuzawa	156
Sharing Experience of Infection Control in NICU in Bhutan Yoriko Nishizawa et al.	168
A Preliminary Study on Civil Society Organizations of Bhutan with Reference to Royal Society	
for Protection of Nature and Tarayana Foundation Akinobu Kawai	180
Honored Guests from Royal University of Bhutan to Kyoto University	195
Visit to Bhutan — Background of Bhutanese Happiness — Yuji Ogihara	207
Special Issue 3: New Guinea	
Urgent Need for Health Education to the Diabetic Elderly Living in Rapid Developing Remote Areas	
— A Case Study from Papua, Indonesia — Yumi Kimura et al.	211
Walking in Swampy Jungles of West New Guinea — A Longitudinal Survey of Neurodegenerative Diseases,	
Totem Spirits and Modern Medical Science — Yutaka Hirata et al.	217
Lifestyle and Culture in Bade, Lowland Papua, Indonesia; A Preliminary Study for the Collaboration	
between Cultural Anthropology and Medical Research	228
Special Issue 4: Contribution from the Yunnan Forum	
The Value of Traditional Swidden Agriculture as Livelihood:	
Continuous Use of Space in Mountainous Northern Laos Satoshi Yokoyama	242
Traveler or Researcher — Report of Research on Matters Concerning Ethnic Minorities in China — Kunitoshi Oka	255
Inheriting the Essence of Tea Culture  Minako Uehara	264

The Association for the Studies of Himalaya, Kyoto University Kyoto University Bhutan Friendship Program High-Altitude Project in Research Institute for Humanity and Nature